

まちの話題

保育フェスタinおごり

小都市保育所連盟主催のもと、6月1日、生涯学習センターにて保育フェスタがおこなわれ、福永宅司さんの「劇と子育てトーク」が行われました。

前半では、子育ての楽しみ方や「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さなどを、教員時代の体験談とともに、分かりやすく話されました。後半では「ヤンママ奮闘記」と題して「親が変われば、子も変わる」ということを、ある若いお母さんの子育ての変化、それにとまなう子どもの変化を1人芝居で演じられました。笑いあり涙ありのお芝居で、参加者はあつという間の1時間を過ごしました。

また、他のコーナーでは、食育として、子どもの食事の調理例や、各保育所・園のオススメ絵本の紹介、各年齢ごとの手作りおもちゃの展示がありました。また、市内保育所・園の紹介も展示され、参加者は熱心に見入っていました。



1人芝居をする
福永宅司さん

各保育所・園の紹介

ふれあいネットワーク活動中

5月18日に、日吉神社社務所において下町区のふれあいネットワークが開催されました。

この活動は、70歳以上の一人暮らしと高齢者世帯の人を対象に、家に閉じこもり不安な気持ちで寂しく過ごすことのないよう楽しく過ごしていただくこととするものです。

今回は「聖マリア病院」の、ザ・ローズマリーバンドおよび介護士より「健康管理」についてさまざまな事例を挙げて話がありました。また、参加者はお茶とお菓子をいただきながら、「世界に一つだけの花」をはじめ、昔懐かしい童謡を交えながらの演奏に合わせて声高らかに歌いました。そして、時間を忘れる程の親睦が深まり、充実した楽しい一日となりました。



あの感動が帰ってきた！ 市民ミュージカル『ハードル』

昨年10月、小郡音楽祭「メインステージ」において、「心の問題」「いじめ問題」をテーマに、市民ミュージカル『ハードル』を制作し、上演したところ、多くの皆さんから大反響を呼び、「もう一度見たい」「是非、再演を」という、たくさんのお声をいただきました。

その声に応えるよう、今年6月21日、22日に市民ミュージカル『ハードル』を再演しました。

今回も「ハードル 真実と勇気の間で」「ハードル2」青木和雄・吉富多美（金の星社刊）を原作に、前回の脚本に一部手を加えるとともに、演出においてもタップダンスを取り入れるなど新たな制作に取り組みました。

前回出演者を含め公募で集まった約60名の出演者は、4月から週3回の厳しい練習を乗り越え、2日間でお越しいただいた約1400人のお客様の前で、たくさんの方の感動とメッセージを伝えることができました。また、同じく公募で集まった約20名の運営ボランティアスタッフが、裏方として、この市民ミュージカルを支えました。

賛助出演として、地元の和太鼓チーム「おごり七太鼓 白鷺会」、幻想的な世界を演じる「くるみパレ エスタジオ」の皆さんが公演の舞台をより一層盛り上げました。

